

新理事の紹介

今年度、東戸畑地区自治会で廣松克美(ひろまつ かつみ/写真右)会長、鞆ヶ谷・福柳木地区自治会で奥野 忠(おくのただし/写真左)会長が選出され、戸畑区自治総連合会の理事に就任しました。



令和5年度 総会開催

～戸畑区自治総連合会 環境衛生協会連合会 市民防災会連合会～

5月20日、令和5年度の総会をウエルとばた大ホールで開催しました。令和4年度の事業報告・決算報告・監査報告及び、令和5年度の事業計画案・予算案の審議を行い、原案どおり承認されました。



▶三上会長から自治会功績者などへ表彰状を授与



■空き家についての相談・お問い合わせ
建築都市局空き家活用推進課 ☎582-2777
戸畑区役所総務企画課 ☎871-3600

戸畑区自治会だより

第73回 「社会を明るくする運動」 区民集会へ参加

7月12日にウエルとばたで区民集会が行われ、自治総連合会会員が多数参加しました。元福岡県警少年育成指導官の堀井智帆氏の、子どもたちの非行や更生保護についての講演は、実際に経験されたお話がとても興味深く、参加して本当良かったという声が多く聞かれました。



戸畑区自治総連合会

◆令和5年度 予算・令和4年度 決算◆

■ 歳入の部			
項目	5年度予算額	4年度決算額	内容
市委託料	17,789,000	17,789,890	市政だより等配布手数料
補助金	2,170,000	2,170,384	北九州市補助金
繰越金	1,220,963	3,222,168	前年度繰越金
事業収入	1,515,000	1,515,385	配布手数料他
会費収入	877,000	877,599	世帯割30円、地区割2.6%
合計	23,571,963	25,575,426	

■ 歳出の部			
項目	5年度予算額	4年度決算額	内容
事務費	3,701,000	3,156,326	総会・理事会開催経費、自治会だより印刷代等
市委託料	17,789,000	17,789,890	市政だより等配布手数料
事業費	1,680,000	1,408,247	地区活動用品等
予備費	401,963	0	
財政調整積立金	0	2,000,000	財源に不足が生じた場合に充てる資金
合計	23,571,963	24,354,463	

◆令和5年度 事業計画◆

事業名	内容
市政連絡事務等	市政だよりの配布等を通じて、市政等の周知に協力する。
各地区自治会との連絡調整	総会、理事会を開催し、連合会の円滑な運営、地区自治会間の連携を図る。
自治会への加入促進	自治会組織の強化及び取り組みの拡大を図るため、未加入・転入世帯の加入促進に努める。
地区自治会への助成	地域での活動用品や啓発物品の配布を通じて、活動の活性化を図る。
各種地域団体との連携	環境衛生、社会福祉、防犯・防災等の各種地域団体の活動に協力・連携し、一体となった地域社会づくり活動に努める。
その他	連合会や地区自治会の取り組み等を周知する「自治会だより」を発行(年2回)する。

発行年月日 令和5年8月15日
発行 北九州市戸畑区 千防一丁目1番1号
北九州市戸畑区自治総連合会 (戸畑区役所コミュニティ支援課内)
発行責任者 会長 三上 久恵
電話 871-2335

令和5年度 功労表彰

(敬称略)
自治会活動に功績があった23名の方が表彰されました

【自治会功績者】

吉本 茂行 (東戸畑)
石倉 京子 (南沢見)

【自治会長・地区市民防災会長】

15年 原田 修 (南沢見)
10年 渡邊 登 (東中原)
5年 横田 健治 (牧山)
三崎 利彦 (大谷第二)

【自治委員協議会長・防災委員】

15年 吉川加代子 (西戸畑)
今田 啓子 (牧山)
光武 繁告 (牧山東)
奥野 忠 (鞆ヶ谷・福柳木)
坂本 三夫 (西一枝)
和泉 政良 (浅生)
10年 谷 繹義 (東戸畑)
沖野 正暁 (東戸畑)
宇野 靖子 (牧山)
松石 洋人 (牧山)
5年 川口 勝己 (東戸畑)
馬場 光男 (牧山)
中田 修 (牧山)
児玉 一記 (西中原)
土井 俊彦 (西中原)
林 哲之 (浅生)
栗原 浩 (浅生)

自治会加入促進の取り組みを強化しています

自治会加入促進コーナーの設置

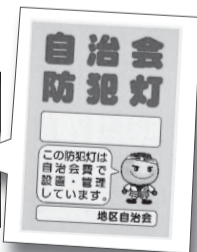
区役所に“自治会加入促進コーナー”を設置し、自治会の重要性や取り組みを紹介しています。市民ロビーでは、全16地区の特色や自治会Q&A、加入申請書を掲載したチラシの設置やアニメーション動画を放映して自治会加入を呼びかけています。



自治会で管理する防犯灯にステッカーを貼っています

道路に設置されている防犯灯は、夜間の犯罪や交通事故が起こるのを防ぎ、安全で安心して生活するために必要なものです。

自治会では、会費などで防犯灯の設置、維持・管理を行っており、一人でも多くの方に活動を知ってもらうため、ステッカーを対象の防犯灯へ貼っています。



※一部貼れない場所もあります

令和4年度下半期 降下ばいじん量 月別測定結果

戸畑区自治総連合会正副会長会議では、市環境局から定期的に本データの報告を受け、ばいじん量の推移を確認し、連合会として、企業と協議や市への要望などを行っています。

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R4 平均	R3 平均
小芝 アパート	3.1	2.6	3.4	5.0	5.8	4.2	4.4	3.9
中原市民センター※	2.6	2.2	3.4	4.7	6.5	3.7	3.8	3.2
とりはた玄海園支援センター	4.2	2.4	3.0	4.2	4.8	3.3	4.0	3.0
浅生スポーツセンター	1.4	1.9	2.9	3.7	4.5	2.9	3.1	2.6
全 市 平 均	1.9	1.8	2.6	4.1	5.1	3.0	3.3	2.3

※中原市民センター移転に伴い、2月測定分より、約100m西側の中原児童館へ移設

編集後記
ま(ち)に(町)に(活)気(を)!!
コロナ禍で、ここ3年間全体的に行事、イベントが停滞・中止していましたが、昨今、新型コロナウイルス感染症が、5類感染症となり、マスクの着用などの感染対策は個人の自由となりました。今年度こそコロナ禍前に戻り、全ての行事が復活するような兆しを感じるようになり、まさに、地域に活気が溢れる、新たな年度でありますよう願うばかりです。
編集委員 西中原地区 竹内 万司



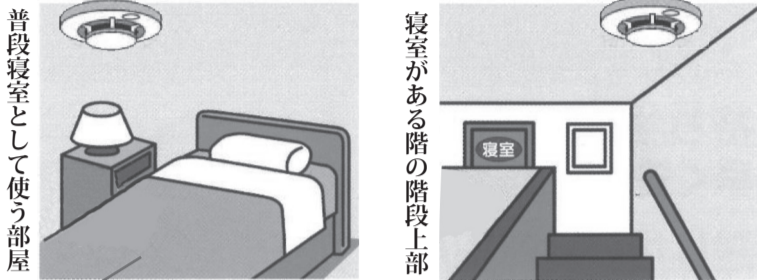
命を守る！住宅用火災警報器

令和4年中の住宅火災による死者は**10名**
そのうち**8名**が高齢者です。

必ず設置しなければならない場所

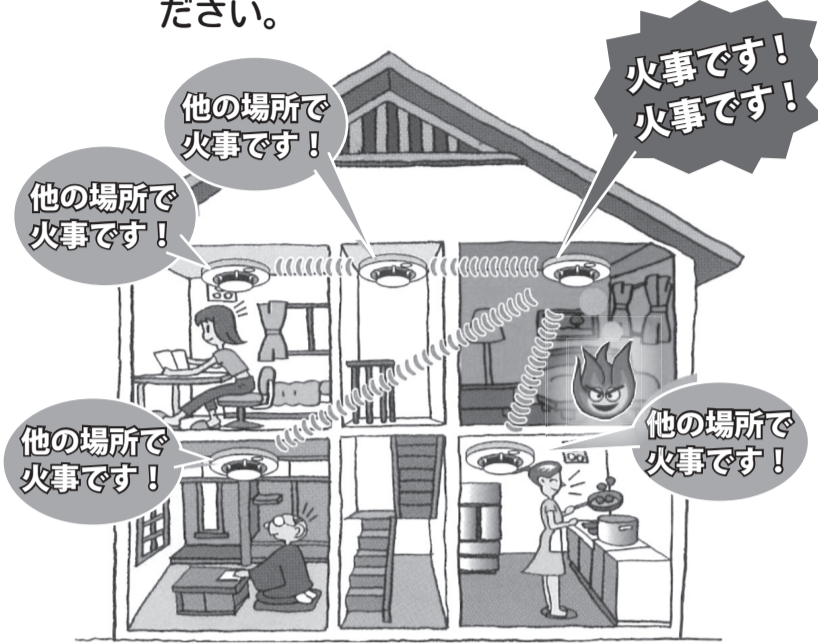
寝室

階段



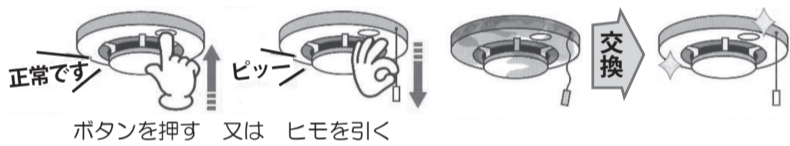
「無線式連動型」について

1ヶ所で煙を感知すると一斉に家中の警報器が鳴る無線式連動型の住宅用火災警報器の設置を、ぜひ検討してみてください。



維持管理（点検・お手入れ）について

- ①月に1回「点検」すること
(点検用のボタン押すかヒモを引いて動作確認)
- ②半年に1回「清掃」すること (掃除機等でホコリを取り除く)
- ③10年経ったら「本体交換」
(電池切れの際は警報器本体を交換「目安10年」)
さらに安心「無線式連動型」
(1ヶ所で煙を感知すると一斉に家中の警報器が鳴る)

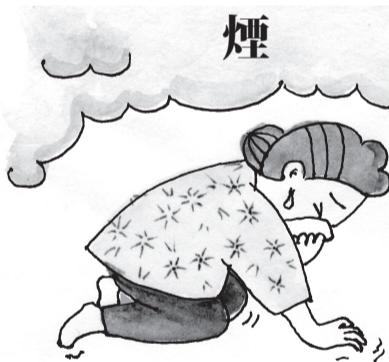


万が一 火事になったら 一番怖いのは煙です

上方向では、人が動く速度より早いため
階段などは、特に注意が必要

毎秒0.3~0.8mで広がる

有毒ガスを含む
煙



毎秒3~5mで上昇

できるだけ姿勢を低くして！
ぬれタオルなどで煙を吸わないようにする！

・服装や持ち物にこだわらず、一刻も早く安全な場所へ逃げる。
・一度避難したら絶対に戻らない。

向こう三軒両隣り

みんなで気配り助け合い



重要

10年を目安に本体を交換しましょう！
電池寿命（おおむね10年）が近づくと、音やランプ表示でお知らせします。

戸畑区市民防災会連合会 予算決算・事業計画

● 歳入歳出予算決算 ●

■ 歳入 (単位：円)			
項目	5年度予算額	4年度決算額	内容
市補助金	550,000	550,000	北九州市補助金
会費	674,350	691,800	自主財源
雑収入	4	4	預金利息
合計	1,224,354	1,241,804	

■ 歳出 (単位：円)			
項目	5年度予算額	4年度決算額	内容
運営費	287,000	282,972	総会、理事会等
事業費	915,000	948,832	防災資器材等
負担金	10,000	10,000	総連合会負担金
予備費	12,354	0	
残金		0	
合計	1,224,354	1,241,804	

● 令和5年度主要事業計画 ●

事業名	実施内容
住宅用火災警報器普及推進	住宅用火災警報器の設置促進及び定期的な点検・清掃・交換などの維持管理について普及活動を実施する。
防災資器材の整備及び訓練の実施	防災資器材を整備し、それを活用した訓練を実施する。
火災予防運動の推進及び訓練の実施	秋・春の火災予防運動を通じ、住民への防火意識啓発を図り、各種行事を行う。
防災リーダー研修	防災委員及び防災推進員に対して、その役割と避難所運営について研修を実施する。
文化財防火運動の推進及び協力	「文化財防火デー」を中心に防火運動を実施し、市民の文化財愛護思想の高揚を図る。

注意！！

- 高齢者・障害がある人は避難に時間がかかるため、まずは避難して下さい。
- 煙を吸うと、意識がなくなり、短時間で死に至ります。
- 小さな火だと思って、無理をして消さないで下さい。

◆ 牧山、牧山東地区でDIGを実施 ◆

令和5年5月31日（水）に、牧山地区市民防災会及び牧山東地区市民防災会の2地区合同でDIG（ディグ）を実施しました。

住民参加型災害図上訓練「DIG」とは、Disaster（災害）、Imagination（想像力）、Game（ゲーム）の頭文字をとって名付けられた訓練です。

大きな地図に、ペンや付箋などを使い、参加者自身が直接地図に書き込むことで、自宅や職場の周りに潜む災害の危険性を「見える化」し、地震や風水害、火災など生活の安全を脅かす出来事が発生したときの備えとして、災害に対してどのように備えればよいかを考える頭の防災訓練となっています。

